書式第１２号（法第２８条関係）

事業報告用

2023年度　事業報告書

特定非営利活動法人　3keys

1　事業の成果

子どもたちへセーフティーネット等を提供する事業（通称：子ども事業①　セーフティーネット作り）

1. 10代向け支援サービス検索・相談サイトMex（ミークス）

子どもたちが安心してサービスを利用できるようにMex（ミークス）の基準をクリアしたサービスに対して認定制度を設けています。2022年度までも厳しい基準を設けて認定サービスを選考してきましたが、2023年度からは基準の厳しさは維持しつつも支援機関がより申請しやすい方法に変更しました。また、認定基準の詳細も社会の多様性や変化に合わせて変更しました。

2023年度は新型コロナ禍以前の生活に戻ったことも影響したと思われますが、Mex利用者数は減少しました。しかしながら、利用者数減少にも拘わらず、相談先掲載ページへのアクセス数は増加しており子どもたちの相談先への関心の高さがうかがえました。今後は基準を満たした認定サービスの掲載数をさらに増やしていくことによって、子どもたちが本当に必要としている支援を実践できる支援機関が増えていくことを目指します。また、定期的な認定基準の見直しも引き続き行っていきます。

なお、2023年度、サイト内で最も検索されたカテゴリは「行ける居場所」、次に多かったのが学校の友達・先生や家族・親戚からの「暴言・無視・ひいき」、3番目に多かったのが「心身の不調」でした。

また、Mexには「気持ちをはきだす」というコーナーがあり、2023年度には1年間で約1,300件の声が寄せられました。誰かから返信が届いたりすることはなく、匿名でただただ悩みや思いを吐露するだけの機能であるため、子どもたちの心の叫びが赤裸々につづられています。

“親が、暴言、暴力をいつものようにしてくる。学校でもいじめられているのに、学校にいけと言われる。自殺しようとしたら、いじめてきた子が止めてきた。いつもいじめてくるんだから、その場に居合わせて、もし自分が死んだら、どうして止めなかったんだと怒られるからに決まってる。自分の居場所が見つけられない。死にたい。”

“何をやっても親を喜ばせてあげられない。勉強も部活も自分の全力でやってるのに結果を残せないのが辛くてだからいつも本気でやってないと言ってる。勉強もしてないけどできるってキャラを演じてる。もう疲れた。助けて。これ以上誰にも迷惑をかけたくない。どうしていいかわからない。”

“俺は男だ。でもみんな俺のことを女だ、もっと可愛くしろなんて言う。俺はいつか男として生きることができる日が来るのだろうか。未来なんて想像もつかない。”

――Mex「気持ちをはきだす」に寄せられた声より

Mexは、サイトの開設がゴールではありません。今後も必要とされている情報を分析しながら、今の子どもたちに合ったサポートができるよう、サイトのメンテナンスや改良を続けていきます。

2. ユースセンター「３（さん）」

2021年に立ち上げたユースセンター「３」は2023年度で3年目となり、定休日の水曜日と12月31日、1月1日を除いた、年314日オープンすることができました。

ユースセンター「３」は思春期世代にとって大きなハードルとなり得る交流・プログラムの要素を取り払い、全国でも珍しい非交流型・非プログラム型の居場所として運営していますが、その運営の中で見えてきたニーズを全国の行政機関や子どもの支援に携わる従事者に伝えるべく、2023年度は以下のような取り組みも行いました。

・2023年5月　ユースセンター報告会　杉並区共催（31名参加）
・2024年1月　Child Issue Seminar内での報告（420名参加）
・2024年2月28日（午前・午後）／3月6日（午前・午後）で計4回の主に行政機関職員向けの研修実施（30名参加）
・そのほか、行政機関職員、議員、研究者等に限定した内覧会の実施（80名参加）

その成果として、各地域で思春期世代のための居場所として非交流型・非プログラム型のニーズが高い可能性について一定の周知ができたと感じています。こども家庭庁準備室が2022年度に実施したアンケート結果や、港区で高校生世代に実施したアンケート結果でも、非交流型のニーズの方が交流型よりも高いことが発見される等、少しずつこういった認識が広まってきていることも感じています。

以下、報告会や研修会等に参加してくださった行政職員の方の声です。子ども支援や居場所は年齢や特性等に関わらずひとくくりにされがちですが、参加者の声からも、幼児期、学童期、思春期でそれぞれ感じ得るハードルや、必要な支援は異なるという視点は、一見当たり前でありながらも、なかなか周知されていないことだと実感した1年でもありました。

“活動されていることを今回の講演で初めて知りました。非交流.非プログラムの安心できる場は今まで無かったと感じ、とても有意義な場であると思いました。”

“子供たちに特に成果を求めず、存在を肯定するような居場所づくり。それにものすごく賛同しました。私もそういう場を増やしたいと思いました。　私も不登校引きこもり支援をしていた際に、外に出られるようになったが次に繋がる居場所のようなものがなく、途方に暮れたことがありました。”

“こうした活動が全国に広がっていくと良いと思いました。大変でしょうが、頑張ってください。”

“自治体が運営するユースセンターで働いていました。そこでは支援が必要なユースをキャッチすること、今すぐ支援をする訳ではないけれども、ユースが必要としたらいつでも支援ができるように継続的な繋がりを持つことが求められていました。その中で、ユースと接点を作るために話しかけたり、イベントを企画して誘ったりすることを第一にしていました。3keys さんのユースセンターでは交流ではなく、ただ居て良い場を提供されているということで、本当に新たな視点でした。”

子どもたちに必要な情報などを伝えるコンテンツ等を作成する事業（通称：子ども事業②　コンテンツ作り）

1.　児童福祉施設向け「教室型プログラム」

2023年度は継続的に支援していた3つの施設に加え、新たに1つの母子生活支援施設と1つの学習支援拠点への支援をスタートさせました。自治体が運営する学習支援拠点との連携ははじめてとなりましたが、学習支援拠点でも児童養護施設や母子生活支援施設と同様、子どもたちの居場所づくりや、接し方のノウハウはあっても、学習支援や教材のノウハウ等があまりない状況が見えてきました。とりわけ学年と学習基盤にギャップのある子どもたちへの学習支援ノウハウについては、全国でも同様のニーズがあるのではという学びになりました。

また、2022年度に続き2023年度もクラウドファンディングを実施し、新規教材の開発や、現場でのフィードバックを踏まえた既存教材のアップデートを行うことができました。3keys では、学習支援の予算が十分にない児童養護施設等でも、子どもたちに必要な支援を届けられるよう、低価格での支援を展開しています。そのため、事業に必要な費用が不足している部分はクラウドファンディングや団体への寄付を活用しながら運営させていただいています。

子どもたちの現状を社会に伝え、子どもたちの環境を変える事業（通称：「伝える・変える」事業）

1. Child Issue Seminar（以下、CIS）

2023年度は、2回のCISを実施しました。2022年度に続き、会場での開催だけでなく、オンラインでのアーカイブ配信も行ったことで、全国の多くの方々に参加していただくことができました。24回目のCISではトー横等で話題となっている薬物過剰摂取（オーバードーズ）による自傷行為をはじめとした若者世代の自傷・自殺をテーマに、25回目のCISでは、近年毎年最高件数を記録し続けている不登校についての実態調査を踏まえた内容をテーマにさせていただきました。

第24回目　2024年1月9日
思春期・中高生世代との関わり方｜10人に1人いるってご存じですか？自傷行為・オーバードーズ
講師：精神科医　[redacted]氏

第25回目　2024年2月21日
不登校の追跡調査から見えたもの～その時に子どもたちは何を思ったのか～
講師：[redacted]氏

CIS は、子どもに普段関わっていない一般の方が気軽に参加でき、子どもたちの現状を正しく知り理解することをコンセプトに運営しておりますが、自治体職員や、子ども支援に携わる方の参加も非常に多く、自傷行為や不登校については、多くの現場で頭を悩ませている実態があり、まだ十分な解決策を見いだせていない問題だとも感じました。以下、参加者の声となっています。

“アーカイブを申し込んでありましたが、会場に来てお聞きして本当に良かったです。たくさんのことを短時間に教えていただき、聞き漏らすまいとドキドキの、密度の濃い時間でした。泣けました。娘に対しても、クラスの子どもたちに対しても（小学校の教員をしています）間違った対応をしていたこと謝りたいです。それにしても、なぜ今、こんなにみんな、生きづらいのでしょうか。支え合うしかないのですが。”－第24回目参加者

“私自身、10代から20代にかけて自傷行為を繰り返していました。お話されていたことのほとんど全部、当時の自分に当てはまっていて驚きました。今回のお話で学ぶことがたくさんありましたし、なんにせよ自分はまっとうに生き延びようとしていたのだと、少し救われたような気持ちにもなりました。”－第24回目参加者”

“「相談しなくてはいけない空気をいかに消すか」など3keysの振り切った方針に感銘を受け「何も差し出さなくても居ていい」という言葉が胸に刺さりました。抱えている痛みを表現するのにもエネルギーが要るので、とにかく好きに休んでいい場所というのは重要だと思います。特に思春期の子たちは不安定な体と心に折り合いをつけ、大人になっていく過程において、今すぐ対処すべき具体的なトラブルを抱えているのでないにせよそういった居場所が必要な時もあるのではないでしょうか。その時に「特に問題のない子」として弾かれないことが、のちの大きなトラブルを回避する助けにもなるのではないかと思いました。
また質問に対する回答で「変化を求めることが現在を否定することにも繋がる」というお話と「過剰な予防対策が差別の温床になる」と仰っていたこと、私は何か具体的な支援活動をしているわけではなく個人としてではありますが、様々な人や社会と関わる中で忘れずにいたいと感じました。“－第24回目参加者

“不登校と聞くと、「どうしてそうなってしまったのか」「きっかけは何だったのか」とそちらにばかりに気がいってしまうが、[redacted]の話を聞き、そのままの子どもの状態をまずは受け入れる環境を整え、学校に戻すことを目的としない、急いで結果を求めないで「待つ」という環境を作ることが必要だと改めて意識付けできた。
3keysのセンターの役割、「環境を整える」「むやみに介入しない」という（大人からの働きかけを）何もしない支援は子どもにとって必要な支援なのだと思った。“－第25回目参加者

“とても分かりやすい内容でした。不登校に関し、本人、保護者、学校の意識の差があること、最近子ども自身不登校の理由がわからないことが増えていることを実感しています。学校で6月末までに9日以上欠席がある児童生徒はそのまま欠席が続きやすいという意識をもって対応するのは参考になりました。後手後手にならない支援を心がけていきたいと思います。”－第25回目参加者

2. メディア掲載・講演・執筆
2022年度は以下のような発信を行いました。前年度より引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、講演はオンラインでの開催がメインとなりました。

メディア掲載回数：計7回
・新聞：2回　毎日新聞、朝日新聞
・Web記事：3回　CAPニューズ（社会福祉法人子どもの虐待防止センター）、nobico（PHP研究所）、厚生労働省・自殺対策サイト
・雑誌・書籍：2回　三田評論（慶應義塾大学）、書籍『大人に言えない小さな悩みが少しだけ軽くなる本』（Gakken）

講演回数：計9回
講演先一覧：東京四谷ロータリークラブ、国際ソロプチミスト東京-東、公益社団法人日本フィランソロピー協会、特定非営利活動法人ETIC.、KIFUBAR、ユースワークキャンプ実行委員会、特定非営利活動法人NPOサポートセンター、一般社団法人 なでしこケア、東京紀尾井町ロータリークラブ

2　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用　136,691 千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
子どもたちへセーフティーネット等を提供する事業	1. 10 代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミークス）」 頼れる大人が周りにいない子どもたちは、トラブルに巻き込まれたり、深刻な状態で発見されたりすることも少なくありません。3keys では、虐待・いじめ・自殺・こころの問題等、深刻な悩みを抱えながらも誰にも相談できずにインターネットに駆け込んだ子どもたちが、安心して頼れる大人や支援団体とつながることができるよう、大人でも分かりづらい、行政や NPO 等の支援機関の情報を子どもひとりでも違いを比較し、相談できるようなサイト作りを目指しています。 また、様々な専門家の方の監修を経ながら、子どもたちがよくひとりで悩む内容の解決やヒントになるようなよみものや動画もサイト内で配信しています。	通年（24 時間）	全国・原則国内	8 名	主に 10 代以下	年に 1 回以上利用した人数 915,457 名	100,202
	2. ユースセンター「3（さん）」 子どもたちにとって、生活の中で一つは必ず「安らぐ場所」が必要です。多くの場合は、それぞれの家がその役割を果たすとされているでしょう。しかし、日本の住宅事情の元で、子ども一人ひとりのパーソナルスペースを用意できているのは、ゆとりのある一部の家庭のみ。家族といえども近すぎる距離で思春期を過ごす中で、家族と距離を取ることができるのは、目の前にあるスマホの中の SNS やネット、商業的な場しかないのが現状です。 さらに深刻な場合は、家庭内で暴力を受けていたり、罵声や面前 DV の被害が日常的にあったり、兄弟姉妹と明らかな差別を受けていたりといった、虐待やマルトリートメント（不適切養育）の環境にさらされている子どもたちは、日常的に安らぐ場所が奪われてしまっています。 「施設のような場ではなく、どちらかというと家にいるような感覚で過ごせる場所」「くつろいだり、目的を持たなくても、居心地が悪くない場所」「評価されたり、何かを強要されたりせず、自分が好きなことをして過ごせる場所」「子どもたちにとって安全で、静的な（非交流型）サードプレイスとなること」それがユースセンター「3（さん）」が目指す場所です。	通年 運営日時：月・火・木・金 9:30～21:30　土・日 13：00～21：30に変更 ※上記曜日は祝日も運営 ※定休日：水曜日、12/31、1/1	東京都新宿区（利用者の対象エリア制限なし）	16 名	18 歳になる年度末まで（高校在学中の方は 20 歳になる年度末まで）・対象のエリア制限なし	登録者 194 名 延べ利用回数 1,593 回 食事提供数 1,573 回	
子どもたちに必要な情報などを伝えるコンテンツ等を作成する事業	1. 子ども向け啓発動画「ミーのなやみ」 私たちは、誰かに相談する気力すら失った子どもたちに、虐待やいじめ、DV 等の正しい知識をつけてもらい、自らを必要以上に責めないこと、自分は悪くないこと、誰かに助けを求めてよいことを伝えています。子ども向け啓発動画「ミーのなやみ」では、子どもたち自身が動画のキャラクターであるミーが抱える悩みを客観的な立場から見ることで、自分が置かれている環境についても改めて考えることができるように構成しました。また、悩みに合わせて相談先等も紹介しています。 YouTube は 10 代が最も利用している Web ツールでもあります。正しい知識を身につけることで、助けを求めることすら恐れている子どもたちに、必要な一歩を踏み出してほしいという思いで作っています。	通年	全国・原則国内	5 名	主に 10 代の子どもたち	191,537 回再生	12,261

	2. YouTube オンライン相談会 コロナ禍で、虐待や自殺等にまつわる子どもからの SOS が増えたことと、平時以上に支援機関や大人の余裕がない状況を踏まえ、緊急企画として YouTube オンライン相談会を実施しました。[redacted]氏と、[redacted]こ子どもたちから寄せられた相談に答えていただきました。 当日のライブでの相談だけでなく、その後に見逃し動画の配信も行っております。子ども向けではありますが、子どもたちとの関わり方のヒントもたくさんありますので、ぜひ大人の方もご覧ください。					60,592 回再生	
	3. 10 代向けコラム 10 代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex(ミークス)」には、相談先だけでなく、子どもたちからよく寄せられる様々な悩みの解決のヒントになるようなコラムを掲載しています。各分野の専門家の監修を経て、正しい情報を心がけているだけでなく、これまで長年子どもたちを支援してきた立場から、子ども一人で読んでも分かりやすい内容になるよう工夫しています。					年に 1 回以上閲覧した人 872,407 名	
	4. 児童福祉施設向け「教室型プログラム」 虐待等の家庭環境で育った子どもたちの多くは、読み書き計算等の基本的な学習基盤が整っていないことが多く、小学校低学年から学習の遅れが顕著になるケースが見受けられます。3keys では、主に児童養護施設と連携し、小学生の補習教室の運営や運営支援・教材支援等を行い、早期から子どもたちの学習をサポートできる環境作りをしています。	通年	東京都、神奈川県		児童養護施設および母子生活支援施設等の児童福祉施設を利用している主に小学生(一部中高生)	67 名・147 教科・5 施設	
子どもたちの現状を社会に伝え、子どもたちの環境を変える事業	**1. 「白書・日本の子どもたちの今」** 耳を疑うような内容の児童虐待、いじめによる自殺、教師や保育士による体罰や性暴力、子どもの貧困や格差等、いつから日本が子どもたちにとって不幸せな国になったのか、信じられないようなニュースを目にする機会が増えました。しかし、それらはどれも誇張ではなく、本当に日本で起きている事柄です。社会が複雑化している一方で、子どもを見守り育てる大人は親・先生に限定され、子どもたちが必要とする様々な形の愛情を受けづらい時代になりました。 事件がある度に、私たちの元にはたくさんのメディアや、個人の方から問い合わせが寄せられます。しかし、事件が去るとまた日常が戻り、子どもたちに関心を寄せる存在が減っていきます。 私たちは、何らかの形で子どもたちに関心を持ち続けてほしいと願っています。そのために、私たちのホームページに訪れた時に、正しく子どもたちの現状を知ってもらい、大人たちが日々できることを少しでもたくさん実践してほしいと思い、複雑化している子どもたちの現状を正しく伝えるための「子ども白書」をサイト内に作りました。子どもたちを見守る大人の一人として、ぜひ子どもたちの今を正しく知っていただけたら嬉しいです。	通年	全国・国内外制限なし	8 名	制限なし(主に大人)	閲覧者数 233,582 名(年に 1 回以上訪れた人のユニーク数)	24,226
	2. 研修・「Child Issue Seminar(通称 CIS)」の開催 3keys では、子どもたちの支援だけでなく、日本の子どもたちを取り巻く環境の周知・改善を目的としたセミナーを大人向けに主催し、理解者や支援者を増やすための啓発活動を行っています。2013 年度から開始した連続セミナー「Child Issue Seminar」では、社会的に話題になっていることや、ぜひ知ってほしいテーマを取り上げています。 子どもの支援に普段関わっていない主に一般の方向けの会と、子どもに既に関わっている支援機関・行政関係者を主たる参加者とした会があります。	CIS:2024 年 1 月 9 日、2 月 21 日 ユースセンター報告会:2023 年 5 月 16 日 内覧会付ユースセンター研修会:2024 年 2 月 28 日、3 月 6 日	東京都(動画配信は全国・国内外制限なし)			CIS 640 名(会場参加・動画視聴を合わせて) 研修・報告会・内覧会等 141 名	

	3. 執筆・講演・メディアでの啓発 3keys では、子どもたちの現状をより多くの方々に伝え、一人ひとりができることを実践するために、講演や執筆等を積極的に行っております。イベントや勉強会等の講師としてお呼びいただくことで、3keysだけではアプローチできない方々に子どもたちの現状を伝えることができます。	通年	全国・国内外制限なし			466 名(講演参加者数のみ)	

（2）その他の事業　　（事業費の総費用【　　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費（千円）

書式第１３号（法第２８条関係）

2023(令和5)年度　活動計算書

2023(令和５)年４月１日から2024(令和６)年３月３１日まで

特定非営利活動法人 3keys

（単位：円）

科　目	金　額		
（一般正味財産増減の部）			
Ⅰ　経常収益			
1　受取会費			
正会員受取会費	130,000	130,000	
2　受取寄附金			
受取寄附金	58,117,512	58,117,512	
3　受取助成金等			
受取助成金	8,384,950		
受取助成金振替額	89,317,196	97,702,146	
4　事業収益			
子どもたちへセーフティネット等を提供する事業	21,085,120		
子どもたちに必要な情報などを伝えるコンテンツ等を作成する事業	594,000		
子どもたちの現状を社会に伝え、子どもたちの環境を変える事業	735,920	22,415,040	
5　その他収益			
受取利息	13		
雑収益	15,180	15,193	
経常収益計			178,379,891
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
(1)人件費			
役員報酬	2,848,471		
給料手当	45,103,090		
法定福利費	6,479,819		
福利厚生費	216,121		
人件費計	54,647,501		
(2)その他経費			
仕入高	1,425		
広告費	2,143,464		
郵送費	972,128		
印刷製本費	774,594		
採用教育費	2,957,782		
調査研究費	116,814		
水道光熱費	2,188,175		
消耗品費	1,591,471		
食材費	2,418,196		
支払保険料	189,945		
租税公課	815,339		
渉外費	18,341		
旅費交通費	2,956,559		
通信費	618,120		
支払手数料	1,480,137		
会議費	667		
謝金	1,252,985		
システム維持費	2,826,053		
委託費	13,152,111		
家賃	40,105,584		
賃借料	43,337		
減価償却費	5,406,174		
雑費	14,024		
その他経費計	82,043,425		
事業費計		136,690,926	

科　　日	金　　額		
2　管理費			
(1)人件費			
役員報酬	751,529		
給料手当	11,899,807		
法定福利費	1,709,609		
福利厚生費	55,966		
人件費計	14,416,911		
(2)その他経費			
広告費	287,564		
郵送費	7,313		
印刷製本費	14,794		
採用教育費	780,368		
調査研究費	3,383		
水道光熱費	85,414		
消耗品費	149,744		
支払保険料	44,525		
租税公課	213,842		
渉外費	3,600		
旅費交通費	717,087		
通信費	161,945		
支払手数料	86,325		
謝金	29,915		
システム維持費	143,659		
委託費	1,194,148		
家賃	3,232,656		
賃借料	11,433		
減価償却費	245,795		
雑費	287		
その他経費計	7,413,797		
管理費計		21,830,708	
経常費用計			158,521,634
当期経常増減額			19,858,257
Ⅲ　経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ　経常外費用			
1　為替差損		7,560	
経常外費用計			7,560
税引前当期一般正味財産増減額			19,850,697
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期一般正味財産増減額			19,780,697
前期繰越一般正味財産額			96,594,069
次期繰越一般正味財産額			116,374,766
(指定正味財産増減の部)			
Ⅰ　受取寄附金	0	0	
Ⅱ　受取助成金	89,317,196	89,317,196	
Ⅲ　一般正味財産への振替額	△ 89,317,196	△ 89,317,196	
当期指定正味財産増減額			0
前期繰越指定正味財産額			0
次期繰越指定正味財産額			0
次期繰越正味財産額			116,374,766

書式第１５号（法第２８条関係）

2023(令和5)年度 貸借対照表

2024(令和６)年３月３１日現在

特定非営利活動法人3keys

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金	74,871,303		
商品	96,557		
未収金	6,952,434		
貯蔵品	157,840		
前払費用	4,945,402		
仮払金	377,533		
流動資産合計		87,401,069	
2　固定資産			
(1)有形固定資産			
什器・備品	631,465		
		631,465	
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	17,325,636		
		17,325,636	
(3)投資その他の資産			
長期前払費用	88,000		
出資金	1,000		
保証金	26,265,600		
		26,354,600	
固定資産合計		44,311,701	
資産合計			131,712,770
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金	12,837,819		
前受収益	396,000		
預り金	315,085		
前受助成金	700,000		
未払消費税等	1,019,100		
未払法人税等	70,000		
流動負債合計		15,338,004	
負債合計			15,338,004
Ⅲ　正味財産の部			
1 指定正味財産			
前期繰越指定正味財産	0		
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産合計		0	
2 一般正味財産			
前期繰越一般正味財産	96,594,069		
当期一般正味財産増減額	19,780,697		
一般正味財産合計		116,374,766	
正味財産合計			116,374,766
負債及び正味財産合計			131,712,770

書式第１６号（法第２８条関係）

2023(令和５)年度　　計算書類の注記

特定非営利活動法人3keys

1．重要な会計方針

計算書類の作成は、 NPO会計基準(2010年7月20日　2017年12月12日最終改正　NPO法人会計基準協会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品ならびに貯蔵品の評価基準は、原価基準により評価方法は法人税法の規定による最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法上の規定に基づいて償却しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

(4) 外貨建債権、債務の評価方法

期末時TTM（電信売買相場の仲値）で評価しています。

2．事業費の内訳

(単位：円)

科目	子どもたちへセーフティネット等を提供する事業	子どもたちに必要な情報などを伝えるコンテンツ等を作成する事業	子どもたちの現状を社会に伝え、子どもたちの環境を変える事業	合計
(1) 人件費				
役員報酬	2,060,645	187,067	600,759	2,848,471
給料手当	32,628,531	2,962,045	9,512,514	45,103,090
法定福利費	4,687,638	425,548	1,366,633	6,479,819
福利厚生費	157,452	13,931	44,738	216,121
人件費計	39,534,266	3,588,591	11,524,644	54,647,501
(2) その他経費				
仕入高			1,425	1,425
広告費	796,314	71,579	1,275,571	2,143,464
郵送費	51,619	227,872	692,637	972,128
印刷製本費	40,563	556,613	177,418	774,594
採用教育費	2,139,721	194,246	623,815	2,957,782
調査研究費	61,276	12,842	42,696	116,814
水道光熱費	2,098,637	21,260	68,278	2,188,175
消耗品費	1,428,545	38,138	124,788	1,591,471
食材費	2,418,196	0	0	2,418,196
支払保険料	143,269	11,083	35,593	189,945
租税公課	586,338	53,229	175,772	815,339
渉外費	14,567	896	2,878	18,341
旅費交通費	2,100,816	178,494	677,249	2,956,559
通信費	444,042	40,311	133,767	618,120
支払手数料	635,923	689,645	154,569	1,480,137
会議費	667	0	0	667
謝金	115,625	772,446	364,914	1,252,985
システム維持費	1,552,986	78,054	1,195,013	2,826,053
委託費	5,558,667	3,492,741	4,100,703	13,152,111
家賃	36,716,794	804,658	2,584,132	40,105,584
賃借料	31,350	2,846	9,141	43,337
減価償却費	3,718,627	1,426,062	261,485	5,406,174
雑費	13,723	71	230	14,024
その他経費計	60,668,265	8,673,086	12,702,074	82,043,425
事業費計	100,202,531	12,261,677	24,226,718	136,690,926

3．使途等が制約された寄附金等の内訳
使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は、116,374,666円です。そのうち、使途が制約されていない正味財産は、同額の116,374,666円です。

（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
みてね基金	0	35,301,796	35,301,796	0	2021～2023年度の「制度の狭間にいる10代向けの新しい形のユースセンター事業」の助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
CBGMこども財団助成金	0	1,400,000	1,400,000	0	「支援サービス検索・相談サイトMex（ミークス）」の利便性向上」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
（公財）三菱財団　助成金	0	4,883,400	4,883,400	0	「10代向け支援サービス検索・相談サイトMex のリニューアルとサイト認知度UP・利用促進策の実施」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
パブリックリソース財団 高山弘子基金	0	500,000	500,000	0	「施設に保護される子どもたちの学びを支える教材作成普及」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
中央共同募金 コープみらい	0	660,000	660,000	0	「ユースセンターを訪れる10代の子どもたちへの食事提供事業」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
パルシステム共済連 ささえあい基金	0	868,000	868,000	0	「ユースセンターを訪れる10代の子どもたちへの食事提供事業」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
（独）福祉医療機構 子供の未来応援基金	0	3,000,000	3,000,000	0	「非交流型の10代の居場所」モデル化事業のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
（公財）日本財団　助成金	0	17,970,000	17,970,000	0	「虐待や貧困などに悩む10代の問題解決の実践と、支援手法の全国展開」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
（公財）日工組社会安全研究財団　助成金	0	800,000	800,000	0	「虐待等で居場所のない若者たちの一時避難場所セキュリティ対策」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
厚生労働省 孤独・孤立対策のための自殺防止対策事業助成金	0	20,000,000	20,000,000	0	「10代が人目を気にせずいつでも立ち寄れる居場所の運営事業」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
CBGMこども財団助成金	0	1,500,000	1,500,000	0	「10代向け支援サービス検索・相談サイト Mexの利用促進」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。

日本労働組合総連合会「連合・愛のカンパ」助成金	0	600,000	600,000	0	「10 代向け支援サービス検索・相談サイト Mexの利用促進」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸﾘｿｰｽ財団　エプソン社会の幸せ支援基金	0	300,000	300,000	0	「10代の子どもたちの居場所で手作りの食事提供」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
(公財) 戸田壽一・成郎育英財団　2023年度助成金	0	1,000,000	1,000,000	0	「ユースセンターを訪れる10代の子どもたちへの食事提供事業」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
パブリックリソース財団 高山弘子基金	0	534,000	534,000	0	「施設に保護される子どもたちの学びを支える教材作成普及」のための助成金として、指定正味財産の受取助成金に計上しています。当期においてすべて事業に充当済みです。
合計	0	89,317,196	89,317,196	0	

4．固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器・備品	381,362	770,000	0	1,151,362	△ 519,897	631,465
無形固定資産						
ソフトウェア	18,428,515	12,493,450	0	30,921,965	△ 13,596,329	17,325,636
ソフトウェア仮勘定	200,000	9,184,450	9,384,450	0	0	0
投資その他の資産						
長期前払費用	0	88,000	0	88,000	0	88,000
出資金	1,000	0	0	1,000	0	1,000
保証金	26,265,600	0	0	26,265,600	0	26,265,600
合計	45,276,477	22,535,900	9,384,450	58,427,927	△ 14,116,226	44,311,701

書式第１７号（法第２８条関係）

2023(令和5)年度　財産目録

2024(令和６)年３月３１日現在

特定非営利活動法人　3keys

（単位：円）

科　　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金			
手元現金	303,517		
三菱UFJ銀行普通預金①	2,454,367		
三菱UFJ銀行普通預金②	60,437,406		
三菱UFJ銀行普通預金③	3,580,517		
三菱UFJ銀行普通預金④	3,153		
郵便振替　当座預金	6,805,280		
郵便貯金　普通預金	1,287,063		
		74,871,303	
商品			
ピアス・イヤリング 他	96,557		
		96,557	
未収金			
子どもの権利保障推進事業収入 他	6,952,434		
		6,952,434	
貯蔵品			
切手・図書ｶｰﾄﾞ他	157,840		
		157,840	
前払費用			
賃貸物件保証委託料・賃貸料 他	4,945,402		
		4,945,402	
仮払金			
仮払金	377,533		
		377,533	
流　動　資　産　合　計			87,401,069
2　固定資産			
(1)有形固定資産			
什器・備品	631,465		
		631,465	
(2)無形固定資産			
HPﾘﾆｭｰｱﾙ、動画「ﾐｰのなやみ」他	17,325,636		
		17,325,636	
(3)投資その他の資産			
長期前払費用	88,000		
出資金　生活クラブ連合会	1,000		
保証金　新宿事務所賃貸	26,265,600		
		26,354,600	
固　定　資　産　合　計			44,311,701
資　産　合　計			131,712,770

科　　目	金　　額		
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金			
スタッフ給与・社会保険料 他	12,837,819		
		12,837,819	
前受収益			
学習支援事業　年会費	396,000		
		396,000	
預り金			
源泉所得税 他	315,085		
		315,085	
前受助成金			
翌期以降使用助成金	700,000		
		700,000	
未払消費税等			
未払消費税等	1,019,100		
		1,019,100	
未払法人税等			
未払法人税等	70,000		
		70,000	
流動負債合計			15,338,004
負債合計			15,338,004
正味財産			116,374,766

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和５年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人　3keys

１　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

２　役員一覧

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	(理事)・監事	ﾓﾘﾔﾏ　ﾀｶｴ 森山　誉恵		令和5年　4月　1日 ～ 令和6年　3月　31日	令和5年　4月　1日 ～ 令和6年　3月　31日
2	(理事)・監事	ﾐﾀﾆ　ｺｳｼﾞ 三谷　宏治		令和5年　4月　1日 ～ 令和6年　3月　31日	年　月　日 ～ 年　月　日
3	(理事)・監事	ｲﾉｳｴ　ｼｭﾝｽｹ 井上　俊介		令和5年　7月　1日 ～ 令和6年　3月　31日	年　月　日 ～ 年　月　日
4	理事・(監事)	ｶﾜｸﾞﾁ　ﾀﾂﾔ 川口　達也		令和5年　4月　1日 ～ 令和6年　3月　31日	年　月　日 ～ 年　月　日
5	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
6	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
7	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
8	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
9	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
10	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

設立・事業報告用

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人　3keys

	氏　　名	[redacted]
1	瀧口　徹	
2	茶谷　寧	
3	森山　誉恵	
4	井上　美優	
5	李　仁淑	
6	川口　達也	
7	平野　淳	
8	淺枝　謙太	
9	藤田　卓也	
10	田中　泰英	
11	崎田　潤一	
12	吉富　麻衣子	
13	稲田　守	